

回答は、マークシート用紙を使って行うこと！

1. ベンゾジアゼピン系睡眠薬で起こりやすい有害事象はどれか、2 つ選べ。
 - A. 転倒
 - B. 失語
 - C. 企図振戦
 - D. 前向健忘
 - E. アカシジア

2. 15 歳の男子。不登校を主訴に母親と来院した。高校受験を控えた中学 3 年生。この 2 ヶ月、朝起きることができないため学校に行っていない。午前中は頭痛、腹痛などの症状を訴え、ベッドの中にいるが、夕方から夜になると元気になり、深夜遅くまでゲームや勉強をしている。学校から病気の可能性を確認するために医療機関を受診するように言われて受診した。母親は「本人が勉強嫌いで学校をさぼっている。ゲームばかりして夜更かしするので朝起きられない」と感情的に主張し、その隣で患者はうつむいて黙っている。
まず行うべきこととして適切なのはどれか、1 つ選べ。
 - A. 患者に登校を促す。
 - B. 患者の話を傾聴する。
 - C. 患者に睡眠薬を処方する。
 - D. 母親に抗不安薬を処方する。
 - E. 親の対応を厳しく注意する。

3. 社交不安障害(社交不安症)の患者の訴えとして特徴的なのはどれか、1 つ選べ。
 - A. 「怖いので飛行機には乗れない」
 - B. 「世間の人々から嫌われている」
 - C. 「明日にも何か大変なことが起こる」
 - D. 「人ごみや公共の場所に行くと不安になる」
 - E. 「人前では緊張して思うように話ができない」

4. 60 歳の男性。従来は周囲に対する配慮ができていたが、最近は著しく自己中心的な言動が目立つようになったことを心配した家族に伴われて来院した。1 年前から気力がなくなり、ボーっとたずんでいることが多くなった。自室内には、数ヵ月前から収集し続けているペットボトルが山積みになっているという。最も考えられる疾患はどれか、1 つ選べ。
 - A. Alzheimer 型認知症
 - B. Lewy 小体型認知症
 - C. 前頭側頭型認知症
 - D. 強迫性障害
 - E. 統合失調症

5. 精神疾患の薬物治療について誤っているものはどれか、2つ選べ。
- A. 第2世代(非定型)抗精神病薬は第1世代(定型)抗精神病薬よりも陽性症状改善効果が強い。
 - B. 第2世代抗精神病薬は第1世代抗精神病薬よりも陰性症状改善効果が強い。
 - C. 第2世代抗精神病薬は第1世代抗精神病薬よりも錐体外路症状発現頻度が低い。
 - D. 新規抗うつ薬(SSRI や SNRI)は三環系抗うつ薬よりも抗うつ作用が強い。
 - E. 新規抗うつ薬(SSRI や SNRI)は三環系抗うつ薬よりも副作用発現頻度が低い。
6. 6歳の男児。落ち着きのなさを心配した父親に連れられて来院した。在胎38週、出生体重3,422gで仮死なく出生した。乳幼児期の発達には明らかな遅れを指摘されたことはない。現在幼稚園の年長組であるが、集団での移動中に興味があるものに気を取られて飛び出してしまうことが時々ある。順番待ちが苦手で、順番を守れずに同じクラスの子ともけんかになることがある。また、先生の話をもっと聞いていることができず、勝手に部屋を出ていくこともある。怒られると感情を爆発させ、手を出してしまうこともある。しかし、落ち着いているときは会話も上手にでき、自分の名前をひらがなで書くことができる。人懐っこく、集団での遊びが好きである。神経診察を含む身体所見に明らかな異常を認めない。
- 父親への説明として適切なものはどれか、1つ選べ。
- A. 「危険を防ぐため行動を制限しましょう」
 - B. 「家庭でもっと厳しくしつけをしましょう」
 - C. 「まず症状を抑えるお薬を内服しましょう」
 - D. 「特に問題はないので通院の必要はありません」
 - E. 「完璧を求めすぎず自信を失わせないように配慮しましょう」
7. 電気けいれん療法について正しいものはどれか、1つ選べ。
- A. 65歳以上は適応にならない。
 - B. 重症うつ病は適応疾患である。
 - C. 副作用として筋強剛がみられる。
 - D. 脳神経外科医の立ち会いが要件である。
 - E. 患者やその保護者の同意なしに実施できる。
8. 32歳の男性。会社から勧められたため、両親に伴われて来院した。大学を卒業後、現在の会社に営業職として勤務し成績は良好であった。昨年、「同僚が自分に悪口を言っている」、「同僚に嫌がらせをされる」と訴えたため、3ヵ月間の入院治療を受けた。退院後、外来通院していたものの、徐々に口数が減り、服装もだらしくなり、遅刻が頻繁になった。毎年提出していた営業計画も立てられなくなったため会社に受診を勧められた。
- 症状の評価に有用なものはどれか、2つ選べ。
- A. 状態特性不安検査(STAI)
 - B. リバーミード行動記憶検査(RBMT)
 - C. Mini-Mental State Examination(MMSE)
 - D. ウィスコンシンカードソーティングテスト(WCST)
 - E. 簡易精神症状評価尺度[Brief Psychiatric Rating Scale(BPRS)]

9. 精神疾患の診断について正しいものはどれか、2つ選べ。

- A. 精神疾患の診断は、国際的にコンセンサスの得られた唯一の診断基準に基づいて行う。
- B. 精神疾患の診断基準には、疾患特異的な検査所見が診断基準に組み込まれている。
- C. 精神症状が物質の影響や他の医学的疾患により引き起こされている場合、いずれの精神疾患の診断もつけることはできない。
- D. 精神疾患を診断するためには、症状の程度と持続期間が重要である。
- E. 多くの精神疾患を診断するためには、病前と比べて社会的または職業的機能の著しい低下をきたしている事が重要である。

10. ある心理テストで用いられる図版の一部を右に示す。

この心理テストについて正しいのはどれか、1つ選べ。

- A. 無彩色と有彩色の図版からなる。
- B. テスト全体には5分程度を要する。
- C. テスト全体は4枚の図版からなる。
- D. 被験者は自ら質問紙に回答を記入する。
- E. 精神疾患のスクリーニングが目的である。



11. 48歳の女性。転倒による大腿骨骨折のため、昨日入院した。昨晩は夜間に全く眠らない状態が続き、今朝から手指と上肢に粗大な振戦が出現した。既往歴に特記すべきことはない。喫煙歴はない。20歳から飲酒を開始し、32歳から夫の母親を自宅で介護するようになり、飲酒する頻度が増えた。38歳から連日昼間も飲酒するようになり、45歳からは1日に焼酎500mL以上を飲酒していた。体温36.7℃。脈拍68/分、整。血圧140/88mmHg。心音と呼吸音とに異常を認めない。腹部は平坦、軟で、肝・脾を触知しない。血液所見：赤血球392万、Hb13.0g/dL、Ht42%、白血球7,500、血小板17万、血液生化学所見：総蛋白7.8g/dL、アルブミン3.8g/dL、総ビリルビン1.0mg/dL、AST140U/L、ALT80U/L、 γ -GTP210U/L(基準8~50)、総コレステロール295mg/dL、トリグリセリド240mg/dL。頭部CTで異常を認めない。

48時間以内に出現する可能性の高い症状で間違っているものはどれか、1つ選べ。

- A. イライラ感
- B. 不安
- C. リーズマン現象
- D. けいれん発作
- E. 幻覚

12. 上記の48時間以内に出現する可能性の高い症状の予防に適切な薬剤はどれか、1つ選べ。

- A. 選択的セロトニン再取り込み阻害薬
- B. ベンゾジアゼピン系薬
- C. 精神刺激薬
- D. 抗精神病薬
- E. 抗酒薬

13. 過去にノーベル賞を受賞した精神科治療法はどれか、2つ選べ。

- A. マリア療法
- B. インスリンショック療法
- C. ロボトミー
- D. 電気けいれん療法
- E. 頭蓋磁気刺激療法

14. 45歳の男性。出勤中に起きた激しいめまいと吐き気を主訴に来院した。1年前に転職となり、通勤に1時間半かかるようになった。慣れない仕事でしかも上司との関係が悪く、出勤を負担に感じるようになった。半年前からは、なかなか寝つけず、朝も早く目が覚めてしまうようになり、倦怠感が強く出勤がづらくなってきた。職場では、午前中は特に、頭が重く感じられ仕事の能率が上がらないために、夜遅くまで職場に残って仕事をしなければならなくなっていた。1か月前からは、食欲がなくなり、何をしても楽しいと感じられなくなった。

この患者で最も注意すべき症状はどれか、1つ選べ。

- A. 幻聴
- B. 過呼吸
- C. 被害妄想
- D. 自殺念慮
- E. 記憶力低下

15. 強迫性障害(強迫症)の症状と考えられるものはどれか、2つ選べ。

- A. 考えが勝手に頭に浮かんでくる。
- B. 自分で考えているという実感が無い。
- C. 過去に見た光景が頭の中にありありと浮かぶ。
- D. 人を殴ってしまうのではないかと考え続けてしまう。
- E. 机の上に置く物と机の辺が平行になっていないと気がすまない。

16. 44歳の男性。過活動を心配した妻に連れられて受診した。3ヵ月前から疲れがとれないと訴え、朝は起床が困難で、会社に遅刻するようになった。2週間前から、特にきっかけなく急に元気になった。「体調が最高なので、眠らなくても全く疲労を感じない」と言い、夜中に欧州支社の担当者との国際電話で話し続け、ほとんど眠らずに出勤するようになったため、妻に連れられ受診した。早口・多弁で、よく話す話題が転々と変わりやすい。妻が家における患者の状態について話すと、些細なことで不機嫌になった。意識は清明であり、身体所見に異常を認めない。

診察時、この患者に認められる症状として不適切なものはどれか、1つ選べ。

- A. 気分高揚感
- B. 睡眠欲求の減少
- C. 食欲増進
- D. 言語心拍
- E. 注意散漫

17. 「問題 16.」の疾患について、治療薬として適切なものはどれか、2つ選べ。

- A. バルプロ酸
- B. ジアゼパム
- C. 炭酸リチウム
- D. イミプラミン
- E. パロキセチン

18. 言語と認知の発達の遅れが疑われる3歳の女兒の検査として適切なものはどれか、1つ選べ。

- A. Rorschachテスト
- B. 津守・稲毛式発達検査
- C. 標準型失語症検査(SLTA)
- D. Wechsler児童用知能検査(WISC-R-III)
- E. Mini-Mental State Examination(MMSE)

19. 双極性障害でみられる思考障害はどれか、1つ選べ。

- A. 連合弛緩
- B. 減裂思考
- C. 思考途絶
- D. 言語新作
- E. 観念奔逸

20. 統合失調症を強く示唆する患者の発言はどれか、1つ選べ。

- A. 「自分には霊がとりついている」
- B. 「(天井のしみを指さして)虫が這っている」
- C. 「自分は癌にかかっているので、明日には死ぬ」
- D. 「自分の考えていることがすべて周囲の人に伝わっている」
- E. 「外に出ると通行人が自分を見るので、外出できない」

21. ナルコレプシーの患者の訴えと考えられるものはどれか、2つ選べ。

- A. 「会議中に突然眠ってしまいます」
- B. 「毎日明け方になるまで眠れません」
- C. 「大笑いすると突然前進の力が抜けます」
- D. 「足がむずむずして動かさずにいられません」
- E. 「毎晩眠れないのではないかと不安になります」

22. 転換性障害(変換症)で誤っているものはどれか記式の心理学的検査はどれか、1つ選べ。
- A. 症状は誇張的に表出される。
 - B. 患者は症状に対してむしろ無関心な態度を示す。
 - C. 症状は医師の態度によって変化する。
 - D. けいれん発作は睡眠中に起こることが多い。
 - E. 運動麻痺が長時間続くと関節の拘縮を生じる。
23. むずむず症候群について正しいものはどれか、1つ選べ。
- A. レム(REM)睡眠と関係が深い。
 - B. ドパミン遮断薬が有効である。
 - C. 加齢とともに患者数は減少する。
 - D. 脚の異常感覚は運動によって改善しない。
 - E. 足関節などの不随意運動が入眠後にみられる。
24. コルサコフ(Korsakoff)精神病で正しいものはどれか、2つ選べ。
- A. 急性アルコール精神病である。
 - B. 慢性の覚醒剤精神病である。
 - C. 側頭葉の萎縮が目立つ。
 - D. 自律神経症状を伴う。
 - E. 作話を伴う。
25. 18歳の女子。普段と様子が違うことを心配した母親に連れられて来院した。昨日、以前から付き合っていた男性と別れることになったとつらそうな表情で号泣しながら帰宅した。2時間後に母親が声をかけると「お母さん、いつものお菓子作ってね」と普段と異なる幼児的な甘えた態度で訴えた。本人が帰宅した時のつらそうな様子について母親が尋ねても「何のこと」と答え、全く記憶していなかった。神経診察を含めた身体診察に異常を認めない。血液検査、脳画像検査および脳波検査で異常を認めない。この患者について正しいものはどれか、1つ選べ。
- A. 昏迷状態である。
 - B. 入院治療が必要である。
 - C. 認知行動療法が有効である。
 - D. 統合失調症の初期である可能性が高い。
 - E. ストレスとなった出来事に対する追想障害である。
26. 「問題 25.」の症例について最も適切な精神科診断はどれか、1つ選べ。
- A. 精神病性障害
 - B. 抑うつ障害
 - C. 解離性障害
 - D. 身体症状症
 - E. 広汎性発達障害

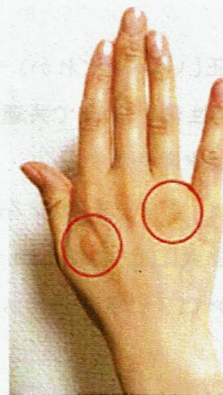
27. 22歳の女性。2週間前から「盗聴器がしかけられている」と言って部屋中を探し回り、「自分の考えが人に伝わっている」と言って、電気のブレーカーを落として生活するようになった。3日前からは食事もせず、誰も話さないようになった。家族は困惑して精神保健福祉センターに相談し、精神科受診となった。精神保健指定医の質問に対して、ときにうなづくような動作はあるものの、返答は全くない。診察を行った精神保健指定医は、入院が必要な状態であると判断し、患者に対して入院の必要性を説明するものの、患者の同意は得られなかった。

本症例の精神科病棟への入院形態として適切なものはどれか、1つ選べ。

- A. 任意入院
- B. 応急入院
- C. 医療保護入院
- D. 措置入院
- E. 緊急措置入院

28. 右の写真を見て、可能性の高い疾患はどれか、2つ選べ。

- A. 神経性やせ症、摂食制限型
- B. 神経性やせ症、過食・排出型
- C. 神経性過食症
- D. 過食性障害
- E. 反芻症(反芻性障害)



29. 身体依存を形成しないものはどれか、2つ選べ。

- A. ヘロイン
- B. アルコール
- C. ニコチン
- D. コカイン
- E. メタアンフェタミン

30. 30歳の男性。糖尿病と甲状腺機能低下症のため内科で治療を受けている。3カ月前から元気がなく、仕事を休みがちであった。ところが、1週間前から朝早く出社し、次々と新しい企画書を作成するようになった。与えられた仕事をこなすだけでなく、同僚の仕事にも口を出し口論となることが増え、仕事と関係のないことも大声で話し落ち着きがなくなったため、上司に伴われて来院した。

この患者に対する治療薬として最も適切なものはどれか、1つ選べ。

- A. バルプロ酸
- B. ジアゼパム
- C. リスペリドン
- D. 炭酸リチウム
- E. オランザピン

31. 精神症状と疾患名の組み合わせで誤っているものはどれか、1つ選べ。
- 観念奔逸-----双極性障害
 - 貧困妄想-----うつ病(大うつ病性障害)
 - 幻臭-----レビー小体病による認知症(レビー小体型認知症)
 - 思考奪取-----統合失調症
 - パニック発作-----限局性恐怖症(単一恐怖)
32. 精神科面接の説明で正しいものはどれか、1つ選べ。
- 初診では問診の項目全てを網羅的に尋ねる必要がある。
 - 半構造化面接は open question の割合が半分以下設定されたものである。
 - 初診時に家族が共に来院した場合は、家族の意見のみを聴取すべきである。
 - 患者と家族の間で話が食い違っている場合には誰かが虚偽の発言をしていると考えるべきである。
 - 精神科において、面接は検査・治療両者の側面がある。
33. 次の文章のうち、正しいものはどれか、一つ選べ。
- LGBT は、同性愛という点で共通する特徴を有する人たちである。
 - LGBT の B は少年を表す。
 - 性的指向は、自分を男と捉えるか、女と捉えるか、の違いのことである。
 - 文科省は公式には、学校において性同一性障害(性的違和)について配慮するよう求めている。
 - LGBT のなかで、T は多数派である。
34. 窃盗症について正しいものはどれか、すべて選べ。
- 女性が男性より多い。
 - 盗みについて罪の意識をもっていない。
 - 反社会性パーソナリティ障害である。
 - 盗まれた物は本人にとってほとんど価値のないものである。
 - 盗みの計画を入念に立てることはない。
35. 22歳の女性。摂食障害と筋力低下のため救急車で搬入された。18歳で失恋を契機に食事制限を開始し、摂食量および体重の減少が止まらなくなり、自宅近くの精神科に通院中であった。筋力低下のため自宅で身動きがとれなくなり、救急車を要請した。月経は3年前から停止している。意識は清明。身長 152cm、体重 26kg。体温 35.1℃。心拍数 48/分、整。血圧 80/52mmHg。前腕にうぶ毛の増生を認める。尿所見：蛋白(－)、糖(－)、ケトン体(＋)。血液所見：赤血球 408 万、Hb11.0g/dL、Ht 38%、白血球 3,300、血小板 8 万。血液生化学所見：AST 28U/L、ALT 16U/L、尿素窒素 12mg/dL、クレアチニン 0.6mg/dL、Na 135mEq/L、K 3.0mEq/L、Cl 94mEq/L、血糖 45mg/dL、HbA1c 4.4% (基準 4.6～6.2)、TSH 2.8 μ U/mL (基準 0.5～5.0)、FT3 1.8pg/mL (基準 2.3～4.3)、FT4 0.9ng/dL (基準 0.9～1.7)。経静脈的にブドウ糖を含む輸液を開始したところ、入院 2 日目から呼吸困難、意識障害(JCS II -20)及び全身の浮腫が出現し、血液所見は AST 539U/L、ALT 654U/L であった。
- 対応として適切でないのはどれか、1つ選べ。

- A. リンを投与する。
- B. 心電図を施行する。
- C. 微量元素を測定する。
- D. ビタミン B1 を投与する。
- E. 甲状腺ホルモンを投与する。

36. 「問題 35」の疾患の BMI (Body Mass Index) の値として正しいものはどれか、1 つ選べ。

- A. 17.3
- B. 15.3
- C. 13.3
- D. 11.3
- E. 10.3

37. 「問題 35」の疾患に、通常見られないものはどれか、1 つ選べ。

- A. 成長ホルモンの上昇
- B. 高コレステロール血症
- C. 甲状腺ホルモン刺激ホルモン (TSH) の低下
- D. エストロゲンの低下
- E. 骨塩量の低下

38. 境界性パーソナリティ障害について正しいものはどれか、1 つ選べ。

- A. 患者の要求になるべく従い、長時間面接を行うことは有効である。
- B. 幻覚や妄想が生じたら、統合失調症に発展していると考えるべきである。
- C. 乱用や依存のリスクを考慮し、薬物療法は標的症候を明確にして限定的に行う。
- D. 自殺に至ることは非常に少ない。
- E. 10 代前半で診断されることが多い。

39. 50 歳の女性。活動の低下を心配した夫に伴われて来院した。2 ヶ月前から朝起床はするが、朝食の準備ができず、ぼんやりと座っているようになった。それまで見ていたニュースや新聞を見なくなり、買い物には行くが、献立を決められず、何も買わずに返ってくる状態であった。2 週間前からは洗濯や掃除などの家事が全くなかったため、夫に伴われて受診した。意識は清明。見当識と記憶に異常は認めない。身体所見に異常を認めない。

この患者にみられることが予想される訴えはどれか、2 つ選べ。

- A. 「自分のせいで家族に迷惑をかけています」
- B. 「急に頭の中が真っ白になってしまいます」
- C. 「テレビドラマを見ると感動して涙ぐんでしまいます」
- D. 「物事に何か裏の意味があるように感じられ不気味です」
- E. 「趣味や好きだったことが少しも楽しめなくなりました」

40. 「問題 39」の症例の第1選択薬として適切なものはどれか、2つ選べ。

- A. 三環系抗うつ薬
- B. 選択的セロトニン再取り込み阻害薬(SSRI)
- C. セロトニン・ノルアドレナリン再取り込み阻害薬(SNRI)
- D. ベンゾジアゼピン系抗不安薬
- E. 気分安定薬